

平成26年行政事業レビューシート

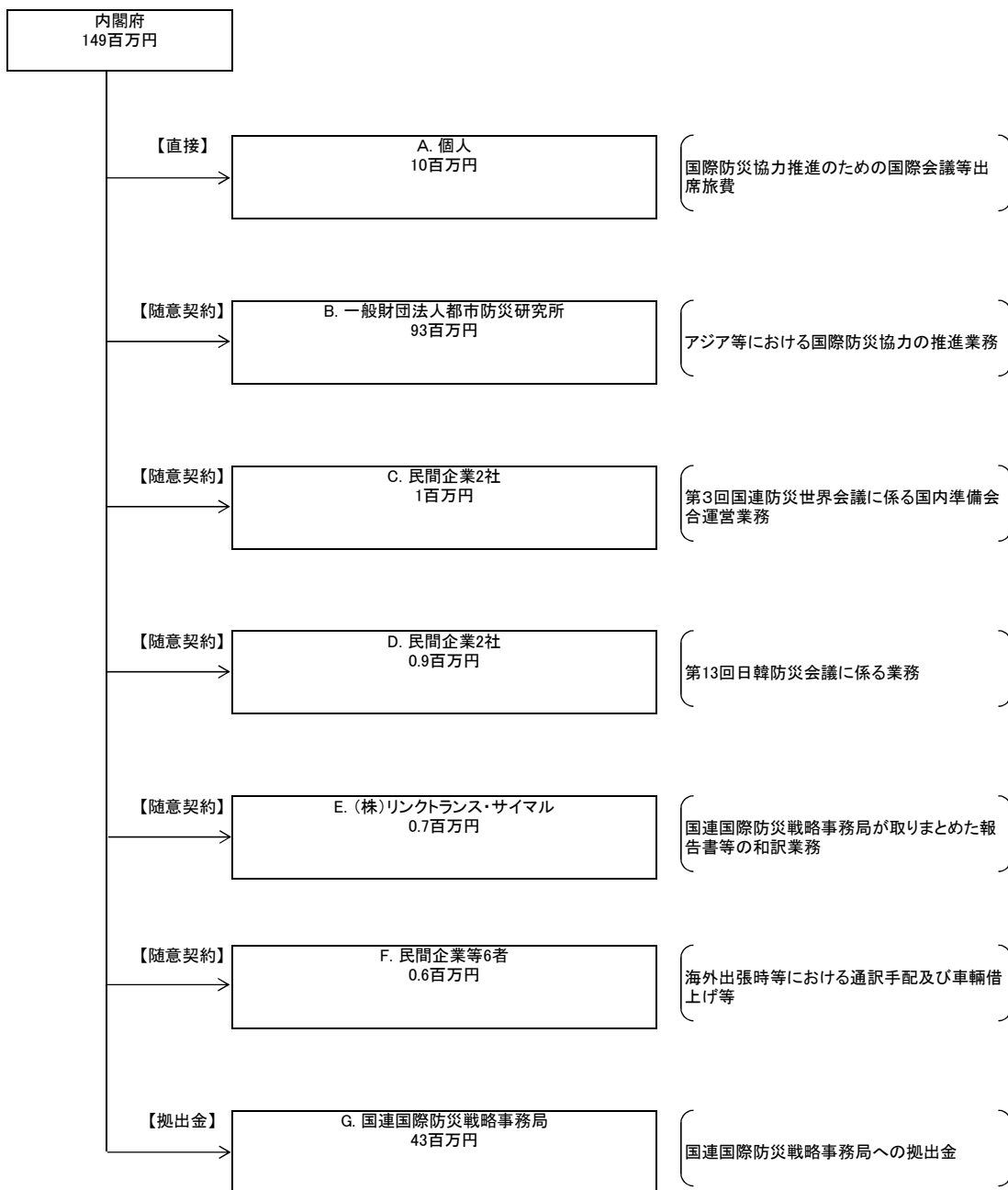
(内閣府)

事業名	国際防災協力の推進に必要な経費		担当部局庁	政策統括官(防災担当)	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成10年度・終了(予定)なし		担当課室	参事官(普及啓発・連携担当)	齊藤 馨			
会計区分	一般会計		政策・施策名	36 国際防災協力の推進(政策11-施策②)				
根拠法令(具体的な条項も記載)	内閣府設置法(第4条第3項7号の6)		関係する計画、通知等	—				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2005年1月に兵庫県神戸市で開催された第2回国連防災世界会議で採択された「兵庫行動枠組(HFA)」を推進する国連防災戦略活動を総合的・効果的に実施するため、国連など国際機関を通じた防災協力、アジア防災センター等を通じた地域内防災協力等によって国際防災協力を積極的に推進する。また、平成27年3月に仙台市で開催される第3回国連防災世界会議において策定される兵庫行動枠組の後継枠組(ポスト兵庫行動枠組)についての検討を実施する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際防災協力推進に資する国際会議等への出席</li> <li>我が国を含むアジア各国の合意により1998年に設置されたアジア防災センターを通じたアジア地域における防災情報の共有、人材育成等の実施</li> <li>国連国際防災戦略事務局(UNISDR)を通じた国際機関、地域機関の活動の支援等の実施</li> <li>ポスト兵庫行動枠組策定に向けた検討の実施</li> </ul>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位：百万円)	予算の状況	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
		当初予算	158	135	177	190	253	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	158	135	177	190	253		
執行額	156	120	149	-	-			
執行率(%)	99%	89%	84%	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値(26年度)	
	アジア各国の防災行政実務担当者のうち短期研修者の研修への達成度		成果実績	%	-	69	84	-
			目標値	%	-	-	70	85
			達成度	%	-	-	120	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値(26年度)	
	アジア防災センターホームページアクセス数		成果実績	回	58,805	57,353	60,486	-
			目標値	回	61,000	61,000	58,000	61,000
			達成度	%	96	94	104	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	アジア防災センターのカントリーレポート更新数		活動実績	国	8	9	8	-
			当初見込み	国	8	8	8	8
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	事業全体のコストを算出することが困難なため、一般財団法人都市防災研究所(アジア防災センター)と契約した「アジア等における国際防災協力の推進業務」の決算額を、当該年度の同センターホームページアクセス数で割ることにより算出したもの。		単位当たりコスト	円	-	1563.2	1535.6	-
			計算式	/	-	89,656,700円/57,353回	92,879,940円/60,486回	-
平成26・27年度予算内訳(単位：百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	14	14	「新しい日本のための優先課題推進枠」61				
	災害関係調査費	126	188	新たな国際的な防災政策の指針・枠組の検討、国際経済活動における戦略的な防災投資推進経費の増				
	国際防災戦略事務局拠出金	50	50					
	計	190	253					

事業所管部局による点検・改善							
項目		評価	評価に関する説明				
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	我が国は「防災先進国」として、東日本大震災をはじめとする幾多の災害を通じて得た貴重な経験や知見を世界に発信し、防災の主流化を積極的に推進してきた。さらに、平成27年3月に開催される第3回国連防災世界会議に向けて、ポスト兵庫行動枠組策定に係る我が国からのインプット内容等の検討を進め、国際社会における議論を主導していくことが重要と認識。また、アジア防災センター等の活動を通じて、アジア地域における兵庫行動枠組の実施状況のレビュー、課題の抽出等を実施し、ポスト兵庫行動枠組策定に向けたアジア地域からのインプット内容のとりまとめに資する必要があると認識。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	随契約案件については、仕様内容について十分に検討し公募により広く募集するとともに、少額随契約案件についても、複数社からの見積りを徴取する等、適切な執行を行っている。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-					
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	第3回国連防災世界会議に向けて、国内においてはポスト兵庫行動枠組への我が国からのインプット内容等を検討する準備会合を開催するとともに、海外で開催される国際会議へ出席し、我が国の教訓や知見、防災技術や防災体制の仕組み等を世界に発信し、国際社会における防災の主流化を積極的に推進した。また、アジア防災センターの活動を通じ、アジア地域における兵庫行動枠組の実施状況のレビュー、課題の抽出等を実施した。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-				
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名	
点検・改善結果	点検結果	我が国は、第3回国連防災世界会議のホスト国として、また防災先進国として、ポスト兵庫行動枠組の策定に係る国際社会における議論を主導し、また、我が国の教訓や知見、防災技術や防災体制の仕組み等を世界に発信し防災の主流化を積極的に推進する等、国際防災協力の推進を図ることの重要性はより高まっている。					
	改善の方向性	予算執行においては、これまでも適切な執行を実施しているところであるが、原則、一般競争入札を採用し、透明性・競争性の確保を図り、少額随意契約については、複数社からの見積りを徴取する等の取組を引き続き実施していくことで、今後も効率的な予算執行に努めていく。					
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	今後も効率的な予算執行に努めながら、国際防災協力の推進を図ってまいりたい。						
備考							
アジア防災センターHP http://www.adrc.asia/top_j.php							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成23年	0059	平成24年	0066	平成25年	0042		

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)



A.個人			E.(株)リンクトランス・サイマル		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	防災グローバルプラットフォーム会合(スイス)出席	1	委託費	国連国際防災戦略事務局が取りまとめた報告書等の和訳	0.7
計		1	計		0.7
B.一般財団法人都市防災研究所			F.個人		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	研究者の人件費	54	委託費	政務官米国出張(NY)における通訳経費の立替払	0.10
業務費	謝金、旅費、借料及び損料、印刷製本費、雑役雑務、通信運搬費、事務補助員の賃金	27	委託費	内閣府副大臣の出張に伴う車輛の借上げ経費の立替払	0.05
一般管理費	人件費+業務の10%	8	委託費	「インドー日本グローバルパートナーシップサミット」(於:インド)における通訳経費の立替	0.05
消費税	消費税	4			
計		93	計		0.20
C.(株)パスコ			G.国連国際防災戦略事務局		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	第3回国連防災世界会議に係る国内準備会合(第1回)運営業務	1	拠出金	国連国際防災戦略事務局への拠出金	43
計		1	計		43
D.(株)インターグループ			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	第13回日韓防災会議に係る通訳・翻訳・印刷業務	0.5			
計		0.5	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人a	海外出張の旅費	1.1	-	-
2	個人b	海外出張の旅費	1.1	-	-
3	個人c	海外出張の旅費	0.8	-	-
4	個人d	海外出張の旅費	0.8	-	-
5	個人e	海外出張の旅費	0.8	-	-
6	個人f	海外出張の旅費	0.8	-	-
7	個人g	海外出張の旅費	0.5	-	-
8	個人h	海外出張の旅費	0.5	-	-
9	個人i	海外出張の旅費	0.3	-	-
10	個人j	海外出張の旅費	0.3	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人都市防災研究所	アジア等における国際防災協力の推進業務	93	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パスコ	第3回国連防災世界会議に係る国内準備会合(第1回)運営業務	1	-	-
2	(財)日本消防協会	第3回国連防災世界会議に係る国内準備会合(第1回)に係る会場借上	0.07	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インターグループ	第13回日韓防災会議に係る通訳・翻訳・印刷業務	0.5	-	-
2	近畿日本ツーリスト(株)	第13回日韓防災会議に係る会議運営業務	0.4	-	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)リンクトランス・サイマル	国連国際防災戦略事務局が取りまとめた報告書等の和訳	0.7	-	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人a	政務官米国出張(NY)における通訳経費の立替払	0.10	-	-
1	個人a	内閣府副大臣の出張に伴う車輛の借上げ経費の立替払	0.05	-	-
1	個人a	「インドー日本グローバルパートナーシップサミット」(於:インド)における通訳経費の立替払	0.05	-	-
2	個人b	「APEC防災担当高級実務者フォーラム」(開催:インドネシア)における通訳経費の立替払	0.14	-	-
3	個人c	内閣府特命担当大臣(防災)のキューバ出張に伴う車両借上料の立替払	0.10	-	-
4	(株)インターグループ	UNISDRワルストロム特別代表と古屋大臣の面談に係る通訳業務	0.04	-	-
4	(株)インターグループ	UNISDRワルストロム特別代表と亀岡大臣政務官の面談に係る通訳業務	0.03	-	-
5	大丸松屋	大臣の海外出張(キューバ)に要する記念品の購入及び無償譲与	0.04	-	-
6	広友サービス(株)	内閣府副大臣の海外出張に要する記念品の購入及び無償譲与	0.02	-	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連国際防災戦略事務局	国連国際防災戦略事務局への拠出金	43	-	-